

科目名	IT基礎2		時間数(半期)	36 時間		
講師名	太田隼人		コマ数 (半期)	18 コマ		
曜日時限	水曜日	3 限	実務経験の有無	○ ・ 無		
単位数	2	単位	内部講師・外部講師	内部 ・ 外部		
実施形態	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ eラーニング ・ 見学					
開講期間	1・2 年 前・後 期		補講・特例措置	あり ・ なし		
スマホ持ち込み	可	不可	授業形態	対面	ZOOM	
採点方法	前期・後期の期末筆記試験・実技試験の評価点数範囲 S (秀) → 100～90点、 A (優) → 89～80点、 B (良) → 79～70点、 C (可) → 69～60点、 D (不可) → 59～0点					
	期末試験を評価の対象とする場合			全体の	%	
	D判定 (不可) の場合の再試験			有	無	
	D判定 (不可) の場合の課題提出			有	無	
	出席率を評価の対象とする場合			全体の	20%	
	小テストを評価の対象とする場合			全体の	20%	
	課題提出を評価の対象とする場合			全体の	0%	
	授業への取り組みの姿勢、態度			全体の	20%	
	公欠時の提出物			有	無	
	検定試験、資格試験			有	無	
	検定名	ITパスポート試験		検定料	7,500円	
概要	情報系への就職を目指す学生やITを使用する事務職への就職を目指す学生に必要なITの基礎知識のうち、システム戦略、開発技術、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントを学ぶ。					
学習目標	社会人として必要なシステム戦略、開発技術、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントといったシステム企画・開発とマネジメントに関する基本的な考え方や体系を理解できるようになる。					
目標とするスキル (各項目について◎、○を記入してください)						
会話	意思疎通	○	協調性		自己表現	
職業人意識	責任感		向上心		勤労意識	
基礎学力	読み書き	○	計算能力	○	社会人能力	◎
ビジネスマナー	マナー		レター			
資格・専門知識	資格	◎	専門知識			

内容と時間数	1回	3～4システム戦略・企画・開発を解説
	2回	3-1システム戦略
	3回	3-2システム企画
	4回	3-3予想問題ディスカッション
	5回	3-X過去問研究
	6回	4-1システム開発技術
	7回	4-2ソフトウェア開発管理技術
	8回	4-3予想問題ディスカッション
	9回	4-X過去問研究
	10回	5-1プロジェクトマネジメント
	11回	5-2予想問題ディスカッション
	12回	5-X過去問研究
	13回	6-1サービスマネジメント
	14回	6-2システム監査
	15回	6-3予想問題ディスカッション
	16回	6-X過去問研究
	17回	IT基礎2：復習演習
	18回	IT基礎2：確認テスト
使用教材	オリジナル教材 ・ 市販教材 ・ 学校のコピー使用	
	市販教材の場合は出典名： ①よくわかるマスター令和4-5年度版ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集 ②よくわかるマスターITパスポート試験 書いて覚える 学習ドリル	
	学校のコピー使用の場合は枚数： 枚/半期	
D判定時の救済措置（有料）	D判定時の再試験、課題再提出については、有料とし60点が上限（C判定）となる。1科目再試験、課題再提出の代金は2000円として職員室に支払うこと。	
関連科目	IT基礎1、3	
備考	ITパスポート試験（随時開催）の受験と合格を目標として授業と対策を行う。学習効率を高める方法として、以下のことを実施する。 ①「書いて覚える学習ドリル」を宿題とする。 ②市販教材付属の「自動採点付き過去問題プログラム」を積極活用し、自主学習及び、授業にて取り入れる。 PC（OS:Windows10）は、1人1台必要となる。	